



「私が参加した女子は、や大學生らでつくる原の競技が終わるまでは観客の方には大きが頗った。メンバ一人がガットボールで応じて、他の選手で応じて、その場に駆けつけ、喜んでいた様子が印象的だった。」

両日、和歌山市と和歌山ビックホールであり、異性一人は成年男女をそろって優勝した。成年男子では田辺工業高校出身の柴田健次郎さん(22)=田辺市役所と橋本健太郎(19)=鷹南大学1年=が当選。日本一本に貢献した。また少年男子の部では田辺工業高校のメンバーが中心の県チームが5位に入賞した。

田辺勢勝利に貢献

# 体操競技 成年男子が日本一

紀伊民報

発行所 ◎ 紀伊民報社  
和歌山県田辺市秋津町  
100番地 〒646-8660  
電話・0739(22)7773(代)  
曾爾FAX・0739(28)0077  
福原FAX・0739(25)3094  
郵便口番・0880-21-2977

和歌山支局  
電話 073 (428) 7171  
串本支局  
電話 0736 (820) 7171  
新宮通信局  
電話 0736 (831) 7174

木村競技で和歌山県の成年男子チームの優勝は20年ぶり6回目。女子は初優勝。柴田快徳さんの話、優勝でさして、「今までしんどくな方に支えてもらつたので、感謝を伝えた」。柳川翠太さんの話、「この団体のために『ミスをしない演技』を磨いてきて、それができた。優勝が少し本当にうれしい」。優勝という結果を喜ぶのは、自分たちの団体として出場できるのは幸運なこと、応援をもらったのは幸運なこと、アーティストとして出場できるのは幸運なこと、などと、喜びを重ねて語る。田中佑典さんの話、恩返しの意味で団長の「おめでとう」。感謝して、もしかしたら「おめでとう」ができないよかっただけで、知人が大勢来てくれただけで演技ができた幸せ。井村本祐さんと和歌山工業高教員の話、「このチームが、今いられるのが何よりも嬉しい」と、喜びを重ねて語る。

ラジオニュース

9面カラー

「田辺工業高勢が

活躍」



躍馬で力強い演技を発せる佐々木怜緒也  
（田舎山市）